

令和8年度

農学部総合型選抜A (一般)・(特別) 学生募集要項



峰ヶ丘講堂（大正13年建築）

豊かな発想を地域に，新たな知を世界へ

宇都宮大学

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データなど



STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイトURL

<https://e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨ 登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩ 上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



② 入試選択と留意事項の確認



③ 志望学部等の選択



④ 顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の
入力



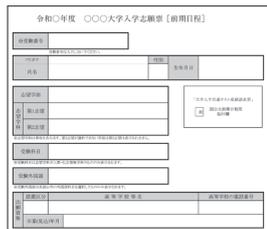
⑥ 出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦ 申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧ 入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



⑨ 出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※ 検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

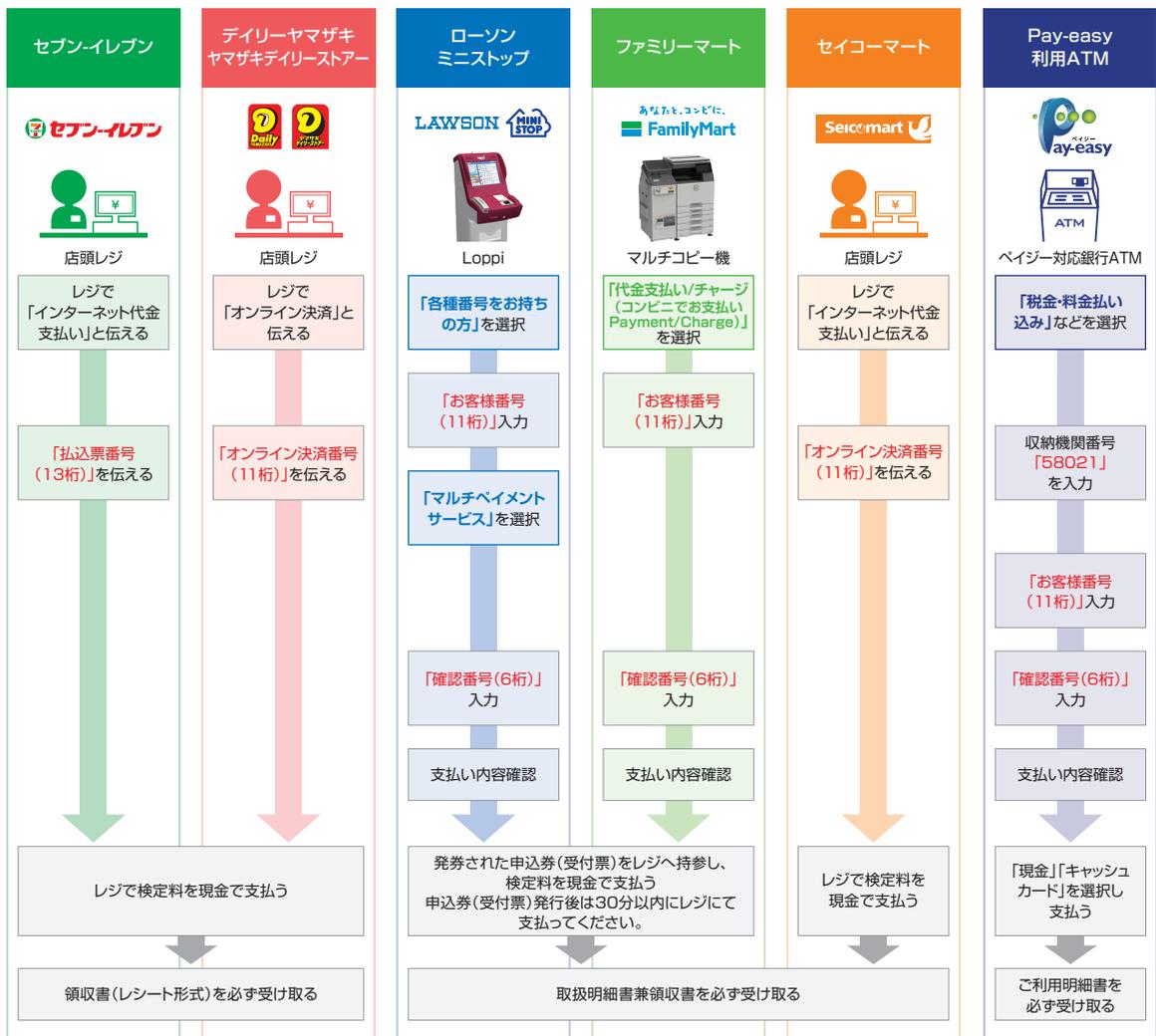
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

6

必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留・速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項を参照して準備してください。
インターネット出願サイトから印刷する書類以外にも高校等に請求いただく書類や本学のホームページから様子をダウンロードして作成する書類がありますので、注意してあらかじめ準備をすすめてください。

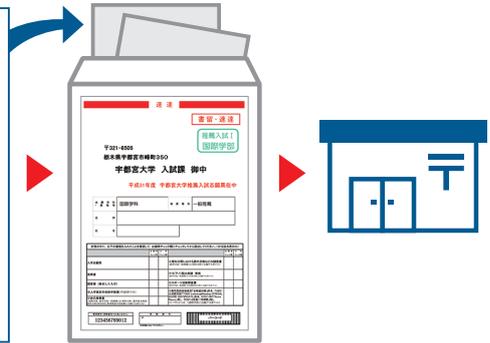


出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

「Web志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「**願書等の印刷**」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「**願書等の印刷**」のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。出願登録、検定料の支払は出願締切日15時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、16 ページをご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけ配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

なお、最終ページに栃木県の高校生を対象とした奨学金のご案内を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

～個人情報の取扱いについて～

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

総合型選抜 A (一般) ・ (特別) 入試日程

農学部

フロンティア食品科学科

生物生産イノベーション科学科

環境システム科学科

エコロジカル社会経済学科



出願受付

令和7年10月1日(水) ~ 令和7年10月3日(金)
※インターネット出願サイトへの事前登録は令和7年9月26日(金)~



第1次選考
結果発表

(2段階選抜を実施する場合)
【A(一般)のみ】
令和7年10月17日(金)



入学試験

令和7年11月1日(土)



合格者発表

令和7年11月18日(火)



入学手続

令和7年12月22日(月) ~ 令和7年12月23日(火)

《目 次》

1	宇都宮大学の理念と方針，教育目標	1
2	宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
3	募集人員	10
4	総合型選抜A（特別）「未来デザイン型入試」について	11
5	出願資格	12
6	出願手続	13
(1)	出願方法	13
(2)	出願期間	13
(3)	提出方法・提出先	13
(4)	入学検定料について	14
(5)	事前準備について	14
(6)	出願書類及び記入要領等	15
(7)	入学検定料免除について	16
(8)	受験票の印刷	17
7	疾病・負傷や身体障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	17
8	選抜の方法及び選抜日程等	18
(1)	選抜の方法	18
(2)	総合型選抜A（一般）・（特別）の入学志願者に課する教科・科目名及び配点	24
(3)	第2次選考及び入学試験の日時及び試験場	26
(4)	第2次選考及び入学試験の時間割	26
9	受験上の注意事項	27
10	入試過去問題の使用について	28
11	合格者発表	29
12	合格者への諸注意	29
13	入学手続	30
(1)	手続期間	30
(2)	入学手続時に必要な納付金等	30
(3)	入学後に必要な諸経費	30
(4)	マイナンバーカードの使用について	30
(5)	その他	30
14	その他	31
15	令和7年度総合型選抜A（一般）入学者選抜状況	31
16	試験場案内図	32

《巻 末》

栃木県の高校生の皆さんへ 入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内	33
----------------------------------	----

1 宇都宮大学の理念と方針，教育目標

○理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1. 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
2. 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
3. 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

○教育目標

1. 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
2. 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた 4 年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

【論理的思考力】 筋道を立てて論理的に物事を考える力

【情報活用力】 情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力

【表現力】 感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力

【学修力】 一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力
変化に対応し、自らを変えようとする力

【協働力】 チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力
多様な人々との繋がりや協働を生み出す力

【課題解決力】 多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取組む力

2 宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

1. 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
2. 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3. 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

農学部 フロンティア食品科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

生物資源のさまざまな可能性、特に嗜好と健康に与える影響について明らかにし、加工による食品の機能強化や生物資源の持続的活用などの科学技術の発展のために、基本的かつ応用的な教育研究を行います。食品や食材などの新しい未来を開拓することで、持続可能で健全な食の推進など農学のポストハーベスト分野で社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続可能で健全な食社会を推進する人材を育成するため、以下の専門科目群を開設します。</p> <p>『食品の材料の科学』科目群：生物資源や食品などの可能性を解明する知識を修得する。</p> <p>『食品の加工・機能性の科学』科目群：食品の加工による機能強化、生物資源の持続的活用に関する知識を修得する。</p> <p>『実験・実習・演習』科目群：食品の嗜好、健康への影響の評価に必要な科学的技能を修得する。</p> <p>『健全な食の科学』科目群：広い視点で、農学関連分野における価値創出力と課題解決力を培う。</p>	<p>食品の加工による機能強化や生物資源の持続的活用など、科学技術発展に貢献する意欲を持っていることが望まれます。食品や食材などの新しい未来の開拓や持続可能で健全な食の推進について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせ道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ② フロンティア食品科学の基礎となる理科（化学あるいは生物）および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③ 様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④ フロンティア食品科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤ 常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥ 農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（化学あるいは生物）および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜 A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎知識、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
	後期日程	出願書類（調査書）			○		
		大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
総合型選抜	A（一般）	面接			☆☆		☆☆☆
		出願書類（調査書）			○		
		論述試験	☆☆		☆☆		
		面 接			☆☆		☆☆
	A（特別）	GD・レポート	☆		☆☆		☆
		出願書類（調査書）			○		
		出願書類（自己推薦書）			○		
		論述試験	☆☆		☆☆		
		面 接			☆☆		☆☆
		GD・レポート	☆		☆☆		☆
学校推薦型選抜	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
	出願書類（調査書）			○			
	出願書類（自己推薦書）			○			
	面 接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
私費外国人留学生選抜	小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
	出願書類（推薦書）			○			
	出願書類（調査書）			○			
	英語外部試験	☆☆☆					
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面 接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類（成績証明書等）			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 生物生産イノベーション科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象に生物生産の過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めるとともに、そこで得た知識を実社会で活用することができるように、アクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、農学関連分野においてイノベーションを創出できる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。生物生産科学の専門性とイノベーションの基礎を修得した人材の育成のため、以下の専門科目群を開設します。</p> <p>生物生産基礎科目群：生命科学や生物生産を学ぶために必要な自然科学の基礎を修得する。</p> <p>生物生産応用科目群：生物を解析し、活用するための基礎的な技能や実践的能力を養う。</p> <p>生物生産基幹科目群：生物生産の観点から生物や農業を取り巻く環境を理解する。</p> <p>生物生産イノベーション科目群：農学関連産業に直結した実践的な知見と先進的な技術を身につける。</p>	<p>自然科学の基礎理論と、生物生産に関わる基礎知識を理解し、農学における技術革新に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農学関連産業の意義と重要性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②生物生産イノベーション科学の基礎となる理科（生物あるいは化学）および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④生物生産イノベーション科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤生物生産イノベーション科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（生物または化学）および英語についての知識や思考力を評価します。また知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションおよび質疑応答では、高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションおよび質疑応答では、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		出願書類（調査書）				○	
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		面接				☆☆	☆☆☆
		出願書類（調査書）				○	
総合型選抜	A（一般）	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆
		面接	☆		☆☆☆		☆☆
		出願書類（調査書）				○	
	A（特別）	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆
		面接	☆		☆☆☆		☆☆
		出願書類（調査書）				○	
学校推薦型選抜	面接	☆☆			☆☆	☆☆	
	小論文	☆☆	☆		☆☆☆		
	出願書類（推薦書）				○		
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験		☆☆☆		☆☆		
	面接	☆☆			☆☆	☆☆☆	
	出願書類（成績証明書等）				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 環境システム科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

持続的かつ合理的な流域圏の基盤をデザインするための知識や技術を身につけ、農学分野の課題解決や発展に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。2年生後期から、①農業環境工学プログラム、②森林科学プログラムのいずれかに分属し、学科共通の専門領域の学修に加え、それぞれの専門領域について学修します。この2プログラムではそれぞれ、①田園空間の総合的デザインや食料生産環境システムの設計・制御に関わる専門技術者、②森林の木材生産と環境保全に関わる専門技術者の育成が図られます。なお、両プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており（予定）、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考えなどの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続的な流域圏の基盤のデザインを担う技術者を育成するために、以下の専門科目群を設置します。</p> <p>基礎科目群：環境システム科学に関する基礎理論を修得する。 環境基盤系科目群：流域圏の基盤のデザインに関わる基礎知識を修得する。 環境計測系科目群：空間デザインのための技術を修得する。 融合・応用科目群：社会的要求の変化に応じた合理的かつ柔軟な対応を学ぶ。 農業環境工学技術系・森林科学技術系科目群：専攻分野の技術者として社会に貢献するための専門知識・技術を修得する。</p>	<p>自然科学の基礎理論と持続的かつ合理的な流域圏のデザインを理解し、環境問題の解決やデジタル技術の活用に貢献する意欲を持っていることが望まれます。持続可能な流域圏の生産基盤をデザインについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな流域環境の創出・管理・評価、スマート農林業などを活用した持続的な食料・木材生産、気候変動へのしなやかな対応などに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ② 環境システム科学の基礎となる理科(生物)あるいは数学および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③ 様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④ 環境システム科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤ 環境システム科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥ 農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科(生物)または数学、および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆		
	出願書類(調査書)				○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
面接				☆☆		☆☆☆	
出願書類(調査書)				○			
総合型選抜	A(一般)	論述試験	☆☆	☆☆			
		面接			☆☆		☆☆
		GD・レポート	☆		☆☆		☆
		出願書類(調査書)			○		
	出願書類(自己推薦書)				○		
	A(特別)	論述試験	☆☆		☆☆		
		面接			☆☆		☆☆
		GD・レポート	☆		☆☆		☆
プレゼンテーション・質疑応答		☆☆		☆☆☆		☆☆	
出願書類(調査書)				○			
出願書類(自己推薦書)				○			
学校推薦型選抜	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
	出願書類(推薦書)				○		
	出願書類(調査書)				○		
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 エコロジカル社会経済学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

食料やその生産基盤となる農林業に関する問題について、経済学や社会学など社会科学の領域から研究・教育を行います。農業生産や環境負荷、消費者ニーズ、循環社会、政策など幅広い専門知識や理論を理解し、誰一人取り残されることなく、十分な食料を確保し続けられる持続可能なエコロジカル社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。食、農林業、環境および経済を分析し、持続可能な社会の構築を担う人材を育成するために、以下の専門教育科目群を設置します。</p> <p>基礎科目群：社会科学の基礎を修得する。</p> <p>応用科目群：農学の対象を分析する力を修得する。</p> <p>演習系科目群：課題発見や解決に資する論理的思考力・判断力や情報収集・分析力を磨く。社会・地域で適切な解決策を見出し、実践できる行動力を身につける。</p>	<p>食料やその生産基盤となる農林業に関する諸問題の解決に貢献する意欲を持っていることが望まれます。環境と社会と経済の持続可能性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ③エコロジカル社会経済学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ④常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑤農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人
- ⑥エコロジカル社会経済学関連分野への関心を持ち、本分野の発展に貢献する意欲を持っている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では小論文あるいは数学、および英語により基礎的な知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎的な知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆			
		出願書類(調査書)				○	
一般選抜	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		面接		☆☆			☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
総合型選抜	A(一般)	論述試験	☆☆	☆☆			
		面接		☆☆			☆☆
		GD・レポート	☆	☆☆			☆
	出願書類(調査書)				○		
	出願書類(自己推薦書)				○		
	A(特別)	論述試験	☆☆	☆☆			
面接			☆☆			☆☆	
GD・レポート		☆	☆☆			☆	
プレゼンテーション・質疑応答		☆☆	☆☆☆			☆☆	
出願書類(調査書)				○			
出願書類(自己推薦書)				○			
学校推薦型選抜	面接	小論文	☆☆	☆☆			☆☆
		出願書類(推薦書)	☆☆	☆☆☆			
		出願書類(調査書)				○	
私費外国人留学生選抜	面接	英語外部試験	☆☆☆				
		日本留学試験	☆☆☆	☆☆			
		小論文	☆☆	☆☆☆			
		出願書類(成績証明書等)	☆☆	☆☆			☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

3 募集人員

学部	学科・分野等	募集人員	
		一般	特別
農学部	フロンティア食品科学科	3名	若干名
	生物生産イノベーション科学科	5名	若干名
	環境システム科学科	6名	若干名
	エコロジカル社会経済学科	5名	若干名
合	計	19名	

(注1) 令和8年度総合型選抜A(特別)の志願者は、本学の同じ学部・学科の総合型選抜A(一般)との併願が可能です。インターネット出願登録時に「総合型選抜A(一般)」、「総合型選抜A(特別)」、「総合型選抜A(一般)及び総合型選抜A(特別)の併願」のいずれか一つを選択して入力してください。「総合型選抜A(一般)及び総合型選抜A(特別)の併願」を選択した者で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A(特別)の合格者とします。

(注2) 令和8年度総合型選抜A(一般)において、農学部フロンティア食品科学科で入学志願者数が募集人員の3倍を超えた場合、農学部生物生産イノベーション科学科で入学志願者数が募集人員の2倍を超えた場合には、2段階選抜とし第1次選考(書類選考)及び第2次選考(本試験)を行うことがあります(農学部の総合型選抜A(特別)の受験者(総合型選抜A(一般)との併願を含む)は対象となりません。)

第1次選考は、農学部フロンティア食品科学科では調査書・自己推薦書、農学部生物生産イノベーション科学科では調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて行います。

2段階選抜の実施有無及び選抜結果(合否)については、本学ホームページにて公表するとともに、下記のとおり志願者全員にお知らせします。

①第1次選考を実施しない場合

志願者全員に本学受験票を交付します。

②第1次選考を実施した場合

合格者には、第1次選考実施結果と本学受験票を交付します。

不合格者には、第1次選考実施結果と検定料の一部(13,000円)を返還するための検定料返還手続書類を送付します。

(注3) 総合型選抜A(一般)の入学手続者が募集人員に満たない場合は、当該不足人員を当該学科・分野等の前期日程の募集人員に加えます。

(注4) データサイエンス経営学部、地域デザイン科学部、共同教育学部、工学部については、「令和8年度総合型選抜A(一般)・(特別)募集要項」をご確認ください。

4 総合型選抜A（特別）「未来デザイン型入試」について

(1) 概要

従来総合型選抜A（一般）に加えて、本学の iP-U*を含む GSC 事業等**の修了者を対象に、新たな総合型選抜（総合型選抜A（特別））を実施します。本選抜で求める学生像は、「未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、本学においてリーダーシップを発揮し、他の学生を感化し牽引できるような資質をもつ者」とします。農学部各学科において若干名を募集します。

この選抜での出願にあたっては、他の選抜との併願が可能です。総合型選抜A（一般）との併願の場合は、本学の同じ学部・学科のみ併願可能で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A（特別）の合格者となります。その他の選抜との併願は、原則的に総合型選抜A（一般）に準じます。

* iP-U 科学技術振興機構「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」事業として採択されていた宇都宮大学の科学人材育成プログラム

** GSC 事業等 科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業及びそれらの後継事業、並びに次世代科学技術チャレンジプログラム事業

(2) 特典

入学後にその力をさらに高めるための環境として、下記の特典を、この選抜による入学者のみ受けられます。

- ・経済的な支援：入学金を全額免除します。
- ・研究環境の提供：学生の希望と受入体制の条件が満たされれば、入学後に希望テーマを実施することも可能です。
- ・修学上の優遇：受講できる授業数の上限を緩和します。
- ・「未来デザイン型入試特別選抜生」の称号を付与します。
- ・研究室への配属：所定の条件をクリアすると、希望研究室への優先的な配属資格が得られます。
- ・本学大学院への推薦：所定の条件をクリアすると、本学大学院への推薦資格が得られます。
- ・国際会議への参加支援：発表指導、参加費の一部補助が受けられます。

5 出願資格

総合型選抜A（一般）

次の①及び②に該当し、かつ③の志望学科の要件の全てを満たす者とします。

① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者

(ウ) 高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者

② 合格した場合は本学に入学することを確約し、入学後、意欲的に勉学に励む者

③ 各学科の要件（下表）

学部	学科・分野等	要件
農学部	フロンティア食品科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	生物生産イノベーション科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	環境システム科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	エコロジカル社会経済学科	なし

総合型選抜A（特別）

次の①、②及び③に該当し、かつ④の志望学科の要件の全てを満たす者とします。

① 次のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和7年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者

(イ) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了又は修了見込みの者

(ウ) 高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者

② 合格した場合は本学に入学することを確約し、入学後、意欲的に勉学に励む者

③ 高校生等を対象とした本学 iP-U*を含む GSC 事業**及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者

④ 各学科の要件（下表）

学部	学科・分野等	要件
農学部	フロンティア食品科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	生物生産イノベーション科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	環境システム科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	エコロジカル社会経済学科	なし

(注1) 農学部と同じ学科での総合型選抜A（一般）及び総合型選抜A（特別）の併願を選択した者で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A（特別）の合格者とします。その他の選抜との併願は、原則的に総合型選抜A（一般）に準じます。

* iP-U 科学技術振興機構「グローバルサイエンスキャンパス（GSC）」事業として採択されていた宇都宮大学の科学人材育成プログラム

** GSC 事業等 科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業

6 出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願のみの受付です。出願手続の手順は以下のとおりです。

Step 1	学生募集要項の確認	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容をご確認ください。
Step 2	インターネット出願登録 (詳細は14ページ)	下記のアドレスからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。 (http:// e-apply.jp/ds/utsunomiya-u/)
Step 3	入学検定料の支払い (詳細は14ページ)	インターネット出願サイトの指示に従い、入学検定料を支払ってください。
Step 4	必要書類の印刷 (詳細は15ページ)	インターネット出願サイトから必要書類を印刷してください。
Step 5	必要書類の送付	インターネット出願サイト及び本学ホームページから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「書留・速達」で郵送してください。
Step 6	受験票の印刷 (詳細は17ページ)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

(2) 出願期間

出願期間	インターネット出願登録 及び入学検定料支払い期限	出願書類到着期限(必着)
令和7年10月1日(水)～3日(金)	10月3日(金)15時	10月3日(金)17時

インターネット出願サイトへの事前登録は令和7年9月26日(金)から可能です。

出願書類到着期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

(3) 提出方法・提出先

原則として書留・速達郵便による郵送とします。郵送では間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合には、出願期間中の9時から17時までに持参してください。

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
宇都宮大学 学務部入試課

(4) 入学検定料について

入学検定料は17,000円です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「コンビニエンスストア」「郵便局・銀行ATM」「インターネットバンキング」「クレジットカード」のいずれかの方法でお支払いください。

総合型選抜A（特別）に出願する受験者で、総合型選抜A（一般）も併願される場合の入学検定料は、1回分の17,000円となります。

入学検定料は、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。ただし、農学部フロンティア食品科学科及び農学部生物生産イノベーション科学科の受験者で、2段階選抜を実施した場合の第1次選考の不合格者には、13,000円を返還します（農学部の総合型選抜A（特別）の受験者（総合型選抜A（一般）との併願を含む）は対象となりません。）。

なお、入学検定料の免除を申請する方は、「(7) 入学検定料免除について」を参照の上、出願登録画面で「入学検定料の免除を申請します」にチェックを入れてください

(5) 事前準備について

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認及び準備してください。

パソコン等の準備	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p>また、入学志願票等PDF書類の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Acrobat Readerが必要です。</p> <p><PC利用時推奨ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none">・Microsoft Edge 最新版・Google Chrome 最新版・Mozilla Firefox 最新版・Apple Safari 最新版 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。</p> <p>前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンをご利用ください。</p> <p><スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none">・iOS 12 以降・Android OS 8 以降・iPadOS 13 以降 <p>※各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。</p> <p>※お使いのブラウザで表示が崩れることがございましたら、他のブラウザにてご確認下さい。</p> <p>※Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。</p>
メールアドレスの用意及びメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>@e-apply.jp</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下の4回メールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none">①インターネット出願登録入力中のテストメール②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール③入学検定料支払完了時の自動送信メール④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール <p>※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。</p>

志願者本人写真 (データ)の用意	インターネット出願登録にあたって、顔写真データ(ファイル形式自由、2MBまで)が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の用意	高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。(「(6)出願書類等」参照)
角形2号封筒の用意	出願書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意してください。
様式印刷の用意 (プリンタ、用紙等)	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙(普通紙、P P C用紙、O A共通用紙、コピー用紙等)を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。(個人情報の取り扱いには十分注意してください。)

(6) 出願書類等及び記入要領等

出願書類等は、黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。ただし、出願書類の*印の欄は記入しないでください。

表中の「◇」印の書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトから印刷する書類、「◆」印の書類は、本学ホームページの入試情報のページから様式を印刷して作成する書類です。(入試情報ページ <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/>) 様式の改変は不可となりますので、注意してください。

出願書類等	記 入 要 領 等
◇入 学 志 願 票	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 写真は、インターネット出願ページにて出願前3か月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。 写真の比率は縦4×横3、ファイルサイズは2MBまでです。
調 査 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、地震、風水害等の影響で学校等が被災し、調査書の必要事項の一部が記入できない、又は調査書そのものが提出できない場合は、必ず9月17日(水)までに学務部入試課へ相談すること。
◆自 己 推 薦 書 (農学部用) 【農学部全学科】 一般、特別 共通	農学部に出願する者のみ提出すること。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。
◆自己推薦書(探究活動の取り組み) 【農学部フロンティア食品科学科】 一般、特別 共通	農学部フロンティア食品科学科に出願する者のみ提出すること。 様式は本学ホームページからダウンロードし、記入上の注意を確認の上、A4サイズで作成してください。

出願書類等	記 入 要 領 等
<p>◆プレゼンテーション資料</p> <p>農学部 生物生産イノベーション科学科 (一般)に出願する者</p> <p>農学部全学科 (特別)を専願又は併願する者</p>	<p>農学部生物生産イノベーション科学科総合型選抜A(一般)に出願する者、農学部総合型選抜A(特別)を専願又は併願する者のみ提出すること。各学科で作成内容が異なるため、注意すること。</p> <p>フロンティア食品科学科に出願する者は、探究活動で取り組んだ課題について記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をスライド4枚で作成してください。</p> <p>生物生産イノベーション科学科(一般)に出願する者は、理科全般あるいは生物に関して取り組んだ課題について、生物生産イノベーション科学科(特別)((一般)との併願を含む)に出願する者は、グローバルサイエンスキャンパス等で取り組んだ課題について記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をスライド8枚以内で作成してください。</p> <p>環境システム科学科に出願する者は、探究活動で取り組んだ課題について記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をスライド4枚で作成してください。</p> <p>エコロジカル社会経済学科に出願する者は、探求活動で取り組んだ課題について記載してください。様式は本学ホームページからダウンロードし、作成上の注意を確認の上、プレゼンテーション資料をスライド4枚で作成してください。</p>
<p>iP-Uを含むGSC事業等の 受講修了証明書 (特別)を専願又は併願する者</p>	<p>高校生等を対象とした本学iP-Uを含むGSC事業及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の受講第一段階を修了したことが証明できるものを提出してください。</p>
<p>◆ 入 学 検 定 料 免 除 申 請 書</p>	<p>地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、「(7)入学検定料免除について」を参照し、本学ホームページから様式をダウンロードして作成し、提出してください。</p>
<p>出 願 書 類 提 出 用 封 筒</p>	<p>市販の角形2号(240mm×332mm)の封筒を各自で用意してください。</p>
<p>◇出願書類提出用宛名シート</p>	<p>インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」の表面に剥がれないよう全面のり付けで貼付してください。</p> <p>出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れないことをチェックした上で、「速達書留」にて郵送してください。</p>

- (注) 1 インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を提出期間内に本学に送付する必要があります。
- 2 入学検定料については、出願書類を受理した後はいかなる理由があっても返還できません。ただし、農学部フロンティア食品科学科及び農学部生物生産イノベーション科学科の受験者で、第1次選考を実施した場合の不合格者には13,000円を返還します(農学部の総合型選抜A(特別)の受験者(総合型選抜A(一般)との併願を含む)は対象となりません。)。総合型選抜A(特別)に出願する受験者で、総合型選抜A(一般)も併願される場合の入学検定料は、1回分の17,000円となります。
- 3 農学部の総合型選抜A(特別)に出願する受験者で、総合型選抜A(一般)も併願する場合の出願書類は1組提出してください。
- 4 受理した書類等は、iP-Uを含むGSC事業等の受講修了証明書を除き、いかなる理由があっても返還できません。iP-Uを含むGSC事業等の受講修了証明書は、試験当日の受付時に返却します。
- 5 受理した書類等の登録及び記載内容は、変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先及び電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- 6 日本語以外の言語で記載されている書類は、訳文の提出を求める場合があります。
- 7 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- 8 プレゼンテーション資料について、試験当日に持参する必要がある学科等があります。詳細は、18ページ以降の、「8 選抜の方法及び選抜日程等」を確認してください。

(7) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、入学試験を行う当該年度において日本国内で発生した、災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法の適用地域において被災し、居住している又は居住していた家屋について、市区町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

- ㉞ 全壊
- ㉟ 大規模半壊
- ㊱ 半壊

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、本学ホームページより様式をダウンロードして作成した入学検定料免除申請書に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①アに該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

- ㉞ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

- ㉟ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課まで問い合わせてください。また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。

(8) 受験票の印刷

受験票は、出願期間終了後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和7年10月10日（金）以降にインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

7 疾病・負傷や身体障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障がい等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、以下の期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限 令和7年9月17日（水）まで

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式はホームページに掲載 <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>）に次の内容を記載し、医師の診断書（入学試験において必要な配慮が、具体的に記載されたもの。写でも可とします。）を添えて学務部入試課へ提出してください。

- ① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類（総合型選抜A（一般）・（特別））、学部、学科等
- ③ 疾病・負傷や身体障がい等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮
- ⑦ 日常生活の状況

8 選抜の方法及び選抜日程等

(1) 選抜の方法

総合型選抜A（一般）

農学部

学 科	試 験 等 の 内 容	
フロンティア 食品科学科	論述試験	<p>〈試験の方法〉 出願書類，論述試験，グループディスカッション，レポート，面接を総合して選抜を実施します。 論述試験では，（１）化学基礎及び化学に関する問題，及び（２）フロンティア食品科学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。 グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。 レポートではグループディスカッションで気づいた点，理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。 面接は，「自己推薦書」に関する質問を含み，複数の面接員による個人面接を10～15分程度行います。 「自己推薦書」は，フロンティア食品科学科を志望する理由と入学後の抱負，及び探究活動で取り組んだ課題において主体的な取り組みの内容やそこから得たことを中心に，本学ホームページからダウンロードした様式に基づいてそれぞれ400字以内で記述してください。</p>
	グループディスカッション	<p>〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために，面接では意欲，主体性，コミュニケーション能力，思考力，表現力を中心に評価します。論述試験では思考力，表現力，フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性，判断力，協働力，コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力，判断力，学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。 また，主体性等を含めた学力の3要素を確認するために，出願書類（調査書等）を使用します。</p>
	レポート	<p>〈試験の方法〉 出願書類，プレゼンテーション及び質疑応答，面接を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーション及び質疑応答では，受験生数名でグループをつくり，1グループあたり60分程度で行います。前半では提出されたプレゼンテーション資料を用いて，自身が取り組んだ高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について5分程度で発表します。後半では発表内容について，受験生同士で互いに発表内容に対する質疑応答を行います。 面接では，「自己推薦書」に関する質問を含み，複数の面接員による個人面接を15～25分程度行います。「自己推薦書」は，生物生産イノベーション科学科を志望する理由と入学後の抱負について，本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。 なお，試験時間は受験者数や状況に応じて変わる場合がありますが，時間の長さは可否には影響しません。</p>
	面接	<p>〈試験の観点〉 プレゼンテーション及び質疑応答では，学修及び研究活動に求められる知識・技能，思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では，本学科で学ぶ適性を見るために，学びに対する意欲や主体性，コミュニケーション能力のほか，思考力，表現力などを評価します。 また，主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために，出願書類（調査書等）を使用します。</p>
生物生産 イノベーション 科学科	プレゼンテーション及び質疑応答	<p>〈試験の方法〉 出願書類，プレゼンテーション及び質疑応答，面接を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーション及び質疑応答では，受験生数名でグループをつくり，1グループあたり60分程度で行います。前半では提出されたプレゼンテーション資料を用いて，自身が取り組んだ高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について5分程度で発表します。後半では発表内容について，受験生同士で互いに発表内容に対する質疑応答を行います。 面接では，「自己推薦書」に関する質問を含み，複数の面接員による個人面接を15～25分程度行います。「自己推薦書」は，生物生産イノベーション科学科を志望する理由と入学後の抱負について，本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。 なお，試験時間は受験者数や状況に応じて変わる場合がありますが，時間の長さは可否には影響しません。</p>
	面接	<p>〈試験の観点〉 プレゼンテーション及び質疑応答では，学修及び研究活動に求められる知識・技能，思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では，本学科で学ぶ適性を見るために，学びに対する意欲や主体性，コミュニケーション能力のほか，思考力，表現力などを評価します。 また，主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために，出願書類（調査書等）を使用します。</p>

学 科	試 験 等 の 内 容	
環境システム 科学科	論述試験	<p>〈試験の方法〉 出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接を総合して選抜を実施します。</p> <p>論述試験では、数学（数学Ⅰ・Ⅱ）に関する問題あるいは生物基礎及び生物に関する問題のいずれか1問、及び環境システム科学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。</p>
	グループディス カッション	<p>グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。</p> <p>レポートではグループディスカッションで気づいた点、理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。</p>
	レポート	<p>面接は、「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～15分程度行います。</p> <p>「自己推薦書」は、環境システム科学科を志望する理由と入学後の抱負について、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。</p>
	面接	<p>〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。</p> <p>また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。</p>
エコロジカル 社会経済学科	論述試験	<p>〈試験の方法〉 出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接を総合して選抜を実施します。</p> <p>論述試験では、エコロジカル社会経済学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。</p>
	グループディス カッション	<p>グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。</p> <p>レポートではグループディスカッションで気づいた点、理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。</p>
	レポート	<p>面接は、「自己推薦書」に関する質問を含み、複数の面接員による個人面接を10～15分程度行います。</p> <p>「自己推薦書」は、エコロジカル社会経済学科を志望する理由と入学後の抱負について、本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。</p>
	面接	<p>〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。</p> <p>また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。</p>

〔注1〕令和8年度総合型選抜A（一般）において、農学部フロンティア食品科学科で入学志願者数が募集人員の3倍を超えた場合、農学部生物生産イノベーション科学科で入学志願者数が募集人員の2倍を超えた場合には、2段階選抜とし第1次選考（書類選考）及び第2次選考（本試験）を行うことがあります（農学部の総合型選抜A（特別）の受験者（総合型選抜A（一般）との併願を含む）は対象となりません。）。

第1次選考は、農学部フロンティア食品科学科では調査書・自己推薦書、農学部生物生産イノベーション科学科では調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて行います。

2段階選抜の実施有無及び選抜結果（合否）については、本学ホームページにて公表するとともに、下記のとおり志願者全員にお知らせします。

①第1次選考を実施しない場合

志願者全員に本学受験票を交付します。

②第1次選考を実施した場合

合格者には、第1次選考実施結果と本学受験票を交付します。

不合格者には、第1次選考実施結果と検定料の一部（13,000円）を返還するための検定料返還手続書類を送付します。

（注2）農学部生物生産イノベーション科学科のプレゼンテーションで用いる資料は、本学ホームページからダウンロードしたフォーマットに基づいて作成してください。資料はMS Power Point等のパソコン作成、手書き作成のいずれでも構いません。A4サイズのコピー用紙等（8枚以内）にカラー片面で印刷もしくは手書きしたものを出願書類として提出してください。また、用紙の右上にページ番号を書き、裏面左上には氏名を記入してください。

試験当日は出願時に提出したプレゼンテーション資料を大学側が試験会場にてプロジェクターで投影します。個人のパソコンの持ち込みや出願時に提出した資料の変更は禁止とします。

総合型選抜A（特別）

農学部

学 科	試 験 等 の 内 容	
フロンティア 食品科学科	論述試験	<p>〈試験の方法〉 出願書類，論述試験，グループディスカッション，レポート，面接，プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。</p> <p>論述試験では，（１）化学基礎及び化学に関する問題，及び（２）フロンティア食品科学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。レポートではグループディスカッションで気づいた点，理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。</p> <p>面接は，「自己推薦書」に関する質問を含み，複数の面接員による個人面接を10～15分程度行った後に，探究活動に関するプレゼンテーション（5分）及び質疑応答を行います。</p>
	グループディスカッション	<p>「自己推薦書」は，フロンティア食品科学科を志望する理由と入学後の抱負，及び探究活動で取り組んだ課題において主体的な取り組みの内容やそこから得たことを中心に，本学ホームページからダウンロードした様式に基づいてそれぞれ400字以内で記述してください。</p>
	レポート	<p>〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために，面接では意欲，主体性，コミュニケーション能力，思考力，表現力を中心に評価します。論述試験では思考力，表現力，フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性，判断力，協働力，コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力，判断力，学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。</p>
	プレゼンテーション及び質疑応答	<p>それに加えて，グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では，研究活動に求められる知識・技能，思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。</p>
	面接	<p>また，主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために，出願書類（調査書等）を使用します。</p>
生物生産 イノベーション 科学科	プレゼンテーション及び質疑応答	<p>〈試験の方法〉 出願書類，プレゼンテーション及び質疑応答，面接を総合して選抜を実施します。</p> <p>プレゼンテーション及び質疑応答では，受験生数名でグループをつくり，1グループあたり60分程度で行います。前半では提出されたプレゼンテーション資料を用いて，自身が行ったグローバルサイエンスキャンパス等の探究活動について5分程度で発表します。後半では発表内容について，受験生同士で互いに発表内容に対する質疑応答を行います。</p> <p>面接では，「自己推薦書」に関する質問を含み，複数の面接員による個人面接を15～25分程度行います。「自己推薦書」は，生物生産イノベーション科学科を志望する理由と入学後の抱負について，本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。</p>
	面接	<p>なお，試験時間は受験者数や状況に応じて変わる場合がありますが，時間の長さは合否には影響しません。</p> <p>〈試験の観点〉 プレゼンテーション及び質疑応答では，学修及び研究活動に求められる知識・技能，思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では，本学科で学ぶ適性を見るために，学びに対する意欲や主体性，コミュニケーション能力のほか，思考力，表現力などを評価します。</p> <p>また，主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために，出願書類（調査書等）を使用します。</p>

学 科	試 験 等 の 内 容	
環境システム 科学科	論述試験	<p>〈試験の方法〉 出願書類，論述試験，グループディスカッション，レポート，面接，プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。 論述試験では，数学（数学Ⅰ・Ⅱ）に関する問題あるいは生物基礎及び生物に関する問題のいずれか1問，及び環境システム科学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。</p>
	グループディス カッション	<p>グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。 レポートではグループディスカッションで気づいた点，理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。</p>
	レポート	<p>面接は，「自己推薦書」に関する質問を含み，複数の面接員による個人面接を10～15分程度行った後に，探究活動に関するプレゼンテーション（5分）及び質疑応答を行います。 「自己推薦書」は，環境システム科学科を志望する理由と入学後の抱負について，本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。</p>
	プレゼン テーション 及び 質疑応答	<p>〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために，面接では意欲，コミュニケーション能力，思考力，表現力を中心に評価します。論述試験では思考力，表現力，環境システム科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性，判断力，協働力，コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力，判断力，学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。</p>
	面接	<p>それに加えて，グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では，研究活動に求められる知識・技能，思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。 また，主体性等を含めた学力の3要素を確認するために，出願書類（調査書等）を使用します。</p>
エコロジカル 社会経済学科	論述試験	<p>〈試験の方法〉 出願書類，論述試験，グループディスカッション，レポート，面接，プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。 論述試験では，エコロジカル社会経済学分野に関する小論文を課します。解答時間は90分とします。</p>
	グループディス カッション	<p>グループディスカッションでは小論文で提示されたテーマについて集団討論を30分間行います。 レポートではグループディスカッションで気づいた点，理解を深めた点について200字以内で記述してください。解答時間は20分間とします。</p>
	レポート	<p>面接は，「自己推薦書」に関する質問を含み，複数の面接員による個人面接を10～15分程度行った後に，探究活動に関するプレゼンテーション（5分）及び質疑応答を行います。 「自己推薦書」は，エコロジカル社会経済学科を志望する理由と入学後の抱負について，本学ホームページからダウンロードした様式に基づいて400字以内で記述してください。</p>
	プレゼン テーション 及び 質疑応答	<p>〈試験の観点〉 本学科で学ぶ適性を見るために，面接では意欲，コミュニケーション能力，思考力，表現力を中心に評価します。論述試験では思考力，表現力，エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性，判断力，協働力，コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力，判断力，学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。</p>
	面接	<p>それに加えて，グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では，研究活動に求められる知識・技能，思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。 また，主体性等を含めた学力の3要素を確認するために，出願書類（調査書等）を使用します。</p>

(注1) 農学部フロンティア食品科学科，環境システム科学科，エコロジカル社会経済学科のプレゼンテーションで用いる資料は，本学ホームページからダウンロードしたフォーマットに基づいて作成してください。プレゼンテーションソフトは，Adobe Reader のみとし，プレゼンテーションファイルは，全てPDF形式とします。MS Power Point 等で作成し，PDFファイルに変換の上，A4サイズのコピー用紙等（4枚）にカラー片面で印刷したものを出願書類として提出し，PDFファイルを試験会場に持参してください。試験はPDFファイルをフルスクリーンモードで表示しPC用プロジェクターにより投影して行います。あらかじめ，最新版 Adobe Reader での動作確認をしてください。パソコンは大学側が試験会場にて用意し，個人のパソコンの持ち込みや出願時に提出した資料からの変更は禁止とします。試験会場に備え付けの Windows PC を最新版の Adobe Reader をインストールして用意します。電子データをUSBメモリスティック若しくはCD-R（ファイナライズされたもの）に保存し持参してください。それ以外のメディアは利用できません。また，ウイルスチェックを必ず事前実施してください。サイズは20MB以下を目安とし，これを超える場合も50MBを遵守してください。

(注2) 農学部生物生産イノベーション科学科のプレゼンテーションで用いる資料は，本学ホームページからダウンロードしたフォーマットに基づいて作成してください。資料はMS Power Point 等のパソコン作成，手書き作成のいずれでも構いません。A4サイズのコピー用紙等（8枚以内）にカラー片面で印刷もしくは手書きしたものを出願書類として提出してください。また，用紙の右上にページ番号を書き，裏面左上には氏名を記入してください。

試験当日は出願時に提出したプレゼンテーション資料を大学側が試験会場にてプロジェクターで投影します。個人のパソコンの持ち込みや出願時に提出した資料の変更は禁止とします。

(2) 総合型選抜A（一般）・（特別）の入学志願者に課する教科・科目名及び配点

農学部

総合型選抜A（一般）

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		本学の試験等		大学入学共通テスト・本学の試験等の配点													
						大学入学共通テスト					第1次選考	第2次選考・入学試験					配点合計		
						国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小計	書類 選考	論述 試験	グループ ディスカッション	レポート	プレゼンテーション 及び質疑応答		面接	
農学部	フロンティア 食品科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート 面接								(注1) (合否)	100	60	40		100	300
	生物生産イノ ベーション科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接								(注2) (合否)				200	100	300
	環境システム 科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート 面接									100	70	30		100	300
	エコロジカル 社会経済学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート 面接									100	25	25		150	300

【本学の試験等】欄

(注1) 農学部フロンティア食品科学科で2段階選抜を行う場合は、調査書・自己推薦書に基づいて第1次選考を行います。

(注2) 農学部生物生産イノベーション科学科で2段階選抜を行う場合は、調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて第1次選考を行います。

総合型選抜A（特別）

学部・学科名		大学入学共通テストの利用教科・科目名		本学の試験等		大学入学共通テスト・本学の試験等の配点												
						大学入学共通テスト					第1次選考	第2次選考・入学試験					配点合計	
		教科	科目名等	科目等	試験の内容等	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小計	書類 選考	論述 試験	グループ ディスカッション	レポート	プレゼンテーション 及び質疑応答		面接
農学部	フロンティア 食品科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート プレゼンテーション及び質疑応答 面接								100	60	40	100	100	400
	生物生産イ ノベーション科 科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接											200	100	300
	環境システム 科学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート プレゼンテーション及び質疑応答 面接								100	70	30	200	100	500
	エコロジカル 社会経済学科		大学入学共通テストを課さない	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループディスカッションのレポート プレゼンテーション及び質疑応答 面接								100	25	25	100	150	400

(3) 第2次選考及び入学試験の日時及び試験場

学部	選抜日	集合時刻	集合場所	試験場	試験開始時刻
農学部	令和7年 11月1日(土)	8時30分	峰キャンパス 1号館A棟 玄関ホール	宇都宮大学 峰キャンパス 農学部 (宇都宮市峰町350)	9時

(4) 第2次選考及び入学試験の時間割

①総合型選抜A(一般)

集合時刻は8時30分です。

面接・グループディスカッション・プレゼンテーションは、受験者数により終了時刻が変更になる場合があります。

試験日 令和7年11月1日(土)

学部・学科等		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
農学部	フロンティア食品科学科	論述試験 9:00~10:30		グループディスカッション・レポート作成 10:50~11:50			面接 13:00~		
	生物生産イノベーション科学科	プレゼンテーション及び質疑応答 9:00~11:30					面接 13:00~		
	環境システム科学科	論述試験 9:00~10:30		グループディスカッション・レポート作成 10:50~11:50			面接 13:00~		
	エコロジカル社会経済学科	論述試験 9:00~10:30		グループディスカッション・レポート作成 10:50~11:50			面接 13:00~		

農学部で課す「グループディスカッション・レポート作成」、「プレゼンテーション及び質疑応答」については、一続きの試験として実施します。

試験時間には、レポート作成の説明やグループディスカッションの説明、教室移動等の時間が含まれる場合があります。

②総合型選抜A(特別)

集合時刻は8時30分です。

面接・グループディスカッション・プレゼンテーションは、受験者数により終了時刻が変更になる場合があります。

試験日 令和7年11月1日(土)

学部・学科等		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
農学部	フロンティア食品科学科	論述試験 9:00~10:30		グループディスカッション・レポート作成 10:50~11:50			面接 13:00~		
	生物生産イノベーション科学科	プレゼンテーション及び質疑応答 9:00~11:30					面接 13:00~		
	環境システム科学科	論述試験 9:00~10:30		グループディスカッション・レポート作成 10:50~11:50			面接 13:00~		
	エコロジカル社会経済学科	論述試験 9:00~10:30		グループディスカッション・レポート作成 10:50~11:50			面接 13:00~		

農学部で課す「グループディスカッション・レポート作成」、「プレゼンテーション及び質疑応答」については、一続きの試験として実施します。

試験時間には、レポート作成の説明やグループディスカッションの説明、教室移動等の時間が含まれる場合があります。

9 受験上の注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験当日は、「本学の受験票」を必ず持参してください。
- ② 試験当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに必ず集合してください。
- ③ 受験の際に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのものに限る）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬、鉛筆キャップ、プレゼンテーション・グループディスカッションの資料だけです。
- ④ 下敷き、座布団については、監督者の許可を得たものだけに使用することができます。
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン等は電源を切り、監督者の指示に従ってください。
- ⑥ 天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない可能性があります。試験場には余裕をもって来るようにしてください。
- ⑦ 昼食は持参してください。
- ⑧ 試験当日は、自動車及びバイクによる試験場内への乗り入れを禁止します。

(2) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録したことにより、登録した情報をもとに作成される志願票、写真票に虚偽の内容があった場合や、解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること

イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと

カ 監督者が試験開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること

キ 試験時間中に、使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること

ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（病気・負傷や身体障がい等により、試験時間中に補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）

ケ 監督者が試験終了を指示した後に、その指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること

コ その他、試験時の説明で禁止された行為をすること

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど、試験の進行に影響を与えること
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
- ※その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

10 入試過去問題の使用について

本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。（必ず使用するとは限りません）

- (1) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。
- (2) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学一覧は、次の URL をご覧ください。
<https://www.nyushikakomon.jp/>

11 合格者発表

(1) 発表日時

合格者発表 (注1, 注2)	農学部	フロンティア食品科学科 【A（一般）のみ】	2段階選抜を実施した場合の第1次選考の結果は、令和7年10月17日（金）に対象者全員へ郵送するとともに、本学ホームページ「 http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html 」においても第1次選考合格者の受験番号を掲載します。（15時頃） *第1次選考不合格者には、検定料の返還方法についての文書を添付します。
		生物生産イノベーション科学科 【A（一般）のみ】	
		フロンティア食品科学科	令和7年11月18日（火）14時
		生物生産イノベーション科学科	令和7年11月18日（火）14時
		環境システム科学科	令和7年11月18日（火）14時
		エコロジカル社会経済学科	

(注1) 電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

(注2) 合格者には「合格通知書」を速達で郵送します。

ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。

(2) 入学前の学修支援について

合格し、入学手続を完了した者には、入学後の学修が効果的に進められるように、入学前に学修課題（例えば、レポートの提出）を与えることがあります。詳細は入学手続完了者に対して、学部（学科）から通知します。

12 合格者への諸注意

(1) 総合型選抜A（一般）・（特別）で合格した者は、原則として入学辞退は認められません。

ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和8年2月18日（水）までに「入学辞退願」（任意様式）を提出し、必ず許可を得なければなりません。

(2) 総合型選抜A（一般）・（特別）による合格者が、本学に入学手続を完了したときは、他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）を受験しても合格者となりません。

（「総合型選抜の辞退を許可された者」でなければ、他の国公立大学を受験してもその合格者とはなりません）

（※公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050）参照）

(3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、総合型選抜A（一般）・（特別）の合格及び入学手続等に関する個人情報、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

13 入学手続

(1) 手続期間

農学部	フロンティア食品科学科 生物生産イノベーション科学科 環境システム科学科 エコロジカル社会経済学科	令和7年12月22日(月)・23日(火) (ただし、23日は17時までに必着とします)
-----	--	--

※入学手続期間内に必ず手続を完了させてください。入学手続を完了しない場合、本学及び出願した他の国公立大学への入学が認められなくなりますのでご注意ください。

(2) 入学手続時に必要な納付金等

ア 入学料 282,000 円

※1 入学料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料(4年間分)〔令和7年4月現在〕
4,660 円

ウ TOEIC IPテスト受験料(5回分) 12,900 円〔令和7年4月現在〕

エ 洋書多読システム等受講料(1年間分) 6,820 円

(3) 入学後に必要な諸経費

ア 授業料 535,800 円(年額)

※1 授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※3 授業料は、半期分(267,900 円)をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落としによる口座振替の方法で納入することになります。(前期分授業料口座振替日は5月下旬)

イ 教科書代 自己負担となります。

ウ 実験・実習費 自己負担となることがあります。

(4) マイナンバーカードの使用について

宇都宮大学では、令和3年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php>」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、1～2か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「<https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/>」をご確認ください。

(5) その他

入学手続等に関する書類は、「合格通知書」送付の際に同封します。

14 その他

(1) 一般選抜等への出願

本学の総合型選抜A（一般）の出願者は、総合型選抜A（一般）を除く本学及び他の大学の入学者選抜にも出願できます。ただし、共同教育学部に出願した者は、本学の学校推薦型選抜において共同教育学部に出願することはできません。なお、他の大学に出願する際は、志望する大学の出願要件等に留意してください。

本学の総合型選抜A（特別）の出願者は、他の入学者選抜にも出願できます。ただし、総合型選抜A（一般）については、本学の同じ学部・学科・系のみ併願可能で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A（特別）の合格者としてします。その他の選抜との併願は、原則的に総合型選抜A（一般）に準じます。

本学の学生募集要項は、学校推薦型選抜は令和7年9月中旬から、総合型選抜B・C・D及び私費外国人留学生選抜は令和7年10月中旬から、一般選抜は令和7年11月上旬から公表する予定です。

(2) 受験者に対する宿泊のあっせんは行いません。

(3) 総合型選抜A（一般）・（特別）の志願状況は10月6日（月）から10月14日（火）の午後5時までホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/syutugan.html>」において公表します。

(4) 総合型選抜A（一般）・（特別）に関して不明な点は、次に照会してください。

〒321-8505 宇都宮市峰町 350
宇都宮大学学務部入試課 TEL 028 (649) 5112

※入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。
※受付時間：平日 9:00～17:00

15 令和7年度総合型選抜A（一般）入学者選抜状況

学部	学科等	募集人員	志願者数	入学試験 受験者数	合格者数	入学者数
農学部	生物資源科学科	5	13	13	5	5
	応用生命化学科	2	10	10	2	2
	農業環境工学科	6	8	8	5	5
	農業経済学科	3	14	14	3	3
	森林科学科	3	2	2	0	0
合計		19	47	47	15	15

※ 総合型選抜A（特別）は令和8年度入学者選抜から実施のため、記載しておりません。

栃木県の高校生の皆さんへ

入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内

宇都宮大学では、本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内の高校生に対して、選考の上、入学時に必要となる学資の一部を給付型奨学金として支給する制度を設けています。

※掲載時点の情報です。申請の際には最新の奨学金募集要項をご確認ください。

◆申請資格（次の全てに該当する方）

1. 令和7年度に栃木県内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
2. 令和8年4月に本学学部正規課程の1年次に入学する予定の者（外国人留学生を除く。）で、本学に強く入学を志望する者
3. 世帯の年間収入が500万円以下である者
4. 令和8年度の総合型選抜A（一般）・（特別）、学校推薦型選抜又は一般選抜（前期・後期）に出願し、合格した場合には入学することを確約できる者

※注：申請資格の3については、令和7年度実績であり、今後変更となる場合があります。

具体の申請資格については、必ず「入学応援奨学金（予約型奨学金）募集要項」をご確認ください。

◆支給額

30万円（一時金）

◆採用予定者数

20人程度

奨学金の要項及び申請用紙は、本学ホームページを参照ください。

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

宇都宮大学ホームページ トップ→受験生の方→学費免除・奨学金制度

【申請から給付までのスケジュール】

令和7年

9月下旬～10月上旬（予定）（消印有効） 申請受付期間

11月末（予定） 内定者決定通知

令和8年

4月 受給者決定，奨学金支給

【奨学金に関する問い合わせ先】

宇都宮大学学務部学生支援課学生支援係

TEL 028-649-5101

※在学する学校を經由して申請してください。入学試験出願書類に同封できません。



宇都宮大学

受験生ポータルサイト

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>

又は右図二次元バーコードでご確認ください。



宇 都 宮 大 学 入 試 課

〒321-8505 宇都宮市峰町350

TEL 028(649)5112